

水資源と緑の保全

1. 水資源の保全

水の再利用（半導体工場）

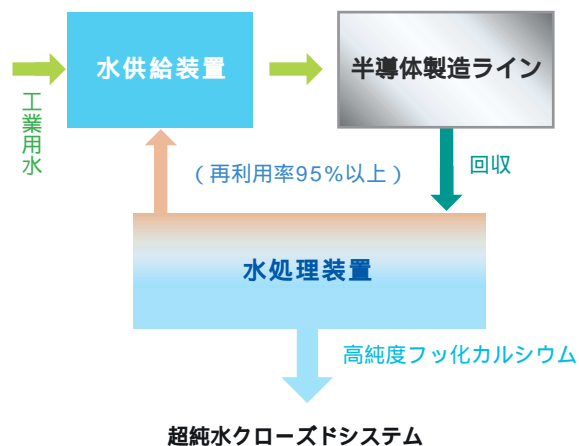
半導体製造工程では、多量の水を必要とします。このため、半導体工場に超純水クロードシステムを導入し、水を再利用しています。

このシステムでは、95%以上の水を再利用し、かつ、副産物として高純度フッ化カルシウム（蛍石）の再資源化を行ないます。

界面活性剤のリサイクル

水資源保全のためには、水質を悪化させる物質を削減することが重要です。

沖エンジニアリングでは、半導体製造工程で排出される界面活性剤を、セラミックフィルタ濾過を利用してリサイクルするシステムを開発しました。この方法により、従来、産業廃棄物として処分されていた界面活性剤の90%以上がリサイクル可能となりました。



界面活性剤リサイクルシステム

2. 緑の保全

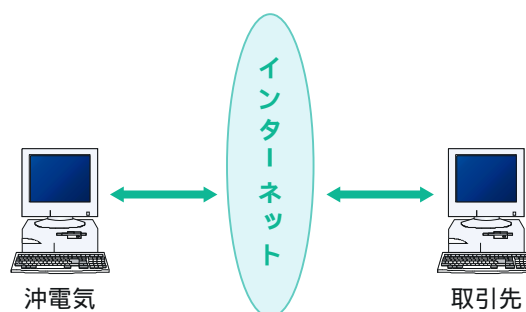
EDI（電子データ交換）によるペーパーレスの取り組み

図面管理や伝票発行の電子化等により、ペーパーレスに取り組んでいます。

従来、沖電気が資材などを取引会社へ発注するときは、紙の伝票を発行していました。

伝票発行枚数を削減するため、1999年度に、従来のVANによるEDIに加え、取引会社と沖電気をインターネットで結ぶ「WebEDIシステム」を構築しました。

今回構築した「WebEDIシステム」では、社内のコンピュータから取引先のコンピュータへ、通信回線を介して注文するため、紙の伝票が必要なく、沖電気全体で120万枚の用紙削減が可能となりました。



WebEDIシステムによる注文